



(3) いかに、メンテナンスの省力化を推進するか  
 老朽化による事故を未然に防止するためには、熟練した技術者による精密な作業が求められる。しかし、人口減少社会に加え、学生の理科離れの深刻化等により、インフラメンテナンスに従事する技術者は減少している。よって、人材面の観点から限られた人材の中で対策を講じていくかが課題である。④

④ タイトルと合わせた方が良いのではないのでしょうか。よって、「メンテナンスの省力化が課題」で良いと思います。

2. 最も重要な課題とその解決策  
 上記のうち、「いかに、老朽化対策を進めるか」を

最も重要な課題に選定し、以下に解決策を述べる。  
 (1) 予防保全型インフラメンテナンス ⑤  
 民間活力の活用：自治体の負担軽減のため、道路や上下水道等へのコンセッション事業導入を推進する。民間事業者が新技術活用を提供することで、⑥効率的なメンテナンスを促進する。また、小規模自治体での技術導入⑦を促すため、PRISMを活用する。これにより、自治体機断的⑧な新技術の普及・展開を図ると共に、導入に役立つ手引き等の作成を推進する。⑨  
 個別施設計画：道路や橋梁等、個別施設毎の維持管理計画を策定し、計画的な長寿命化を図る。策定にあたり、各施設への点検・診断を通じて劣化・損傷の程度や原因を把握し、老朽化判定度を設定する。判定区分Ⅰ・Ⅱと診断された損傷が軽微なインフラについても⑩予防措置を推進すること、LCCの縮減を図る。

⑤ 予防保全措置を図るかを課題にして、その解決策が予防保全型インフラメンテナンスでは、課題と解決策が一緒になっています。内容からすると小見出しは、「予防保全スキームの立案」ですかね。

⑥ 新技術を持っていることが前提となっていることに違和感があります。ここは、「民間事業者のノウハウを活用することで」が手段とマッチすると思います。





